

# 広報 **ながはま** 2月号

## 48世帯

# 団地生活はじまる



一月十四日に行われた初めての公開抽選によって、今年度小浦団地に完成した町営住宅二むね四十八戸への入居者が決まりました。家移りは一月十八、十九、二十日を中心に行われ、すでに新しい住いでの生活がはじまっています。

これで小浦団地には、一昨年の分を合わせて七十八世帯約二百三十人が移ってきたことになります。町では五十年にも、一むね二十四戸を建てる計画にしており、さらにその数だけ住宅難が解消されることとなります。

の町にとっても何よりも望まれていること。  
みんなの理解と協力で、その方向に向ってスムーズな進展が見られることを、ともに喜ぶたいものです。  
写真は新築なった町営住宅に家移りする入居者（十九日）



# わが町を語る

都会にあこがれ、都会に人生を求めてふるさと長浜町を離れて行った若者たち…。その若者たちはその後わがふるさとをどう思い、どう感じ、ふるさとになにを望んでいるのだろうか…。この町に根をおろした私たち、そして、「楽しく住みよい町」、「若者が離れてゆかない町を…」と取り組む行政機関にとつてその声はぜひ聞かせてほしいものの一つ。

そこで町では、最近、都会での生活を引き揚げてふるさと長浜町に帰ってこられ生活をされている若者の一部の方に出席いただき、「都会とふるさとわが町—そのギャップ(ちがい)」を語ってもらいました。

あなたにも、今後の町づくりの参考としていただければ幸いです。

藤岡…さっそくですが、都会での生活はいかがでしたか。

都会…自由・便利・安い・楽しい  
束縛的・不便・高い・つまらない…田舎

山本…一口に言えば、都会はやはり田舎(いなか)より生活がしやすいですね。

権田…私の場合は「しやすい」ではなくて、田舎ほど「きつくない」といった感じですね。

その理由として、まず感じられることは、田舎よりは都会の方が「自由」があるということ、たとえば、田舎へ帰ると、いわゆる「周囲の目」ということで、かなり自分の意思通りにやれないことが多いといったことなど…。

松田…やはり都会は便利がよいし仲間が多いし、楽しいですね。たとえば、休みの日などいろいろ

## 出席者

権田 健治 (28歳・川口市に8年・48年8月帰郷・下須戒・会社員)

山本 達夫 (25歳・東京に6年・49年8月帰郷・長浜・会社員)  
崎岡 達江 (22歳・尼崎市に3年半・49年9月帰郷・白滝・家事手伝い)

松田智美香 (21歳・神戸市に2年半・49年11月帰郷・須沢・スパー店チエッカー)  
聞き手・司会||長浜町役場文書広報課長・藤岡喜代夫



松田

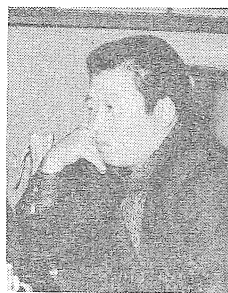
な友だちと有意義に過ごせましたね。その点、田舎へ帰ると友だちは少ないし、休みの日はまちまちだしちよっと遊びに出たいと思っても交通の便はよくない(都会ほどは)し…。

藤岡…経済的な面ではどうですか。よく「都会で十万円とって生活するのも田舎で五万円とって生活するのも同じだ」ということを聞きますが…。

権田…私はそれは逆だと思いません。そりゃあ、住宅とか土地は別ですが、食費とか衣類にしても都会の方がずっと安い気がします。

山本…長浜は物がとくに高いんでしょ？、私たちも家賃が高くってやってゆけませんね。

藤岡…町も工業開発と合わせて住宅対策を立てており、今、五か年計画で小浦団地に住宅を建てています。去年三十戸、ことし四十八戸が完成し、来年度も二十四戸分をつくる計画ですから住宅の問題は解消できると考えている



権田

山本…田舎は遊びに帰ってくる所ですね。それが一番いいなと思います。

崎岡…田舎は盆と正月に帰ったんでいいみたい。

山本…一週間以上もいると、もういやになっちゃいますね。(笑)  
松田…二、三日うちですね。飽きてしまうし、いやになりますね。活気はないし、もう夜も九

んですけどね。  
ともかく、安く入れる住宅はぜひ必要ですね。  
山本…田舎で安いのは野菜くらいじゃあないですか。魚だって都会の方が安いですね。  
権田…やはり大きな商店がないからだと思いますね。  
山本…田舎では店に限られるので、高かろうとどうであるうとそこで買わなければなりません、都会は大きいスーパーがたくさんありますから、より好みして安く、合理的ですね。  
店が少なく、せり合うことがないから安くならないんでしょう。  
藤岡…ふるさとの町の生活は決して望ましくないという感じですね。

崎岡…帰ってみると、また大阪へ出て行きたいなあと考えます。  
権田…田舎へ帰れば田舎の悪さが目につくし、都会に出れば都会の悪さが目につく…、そういうものかも知れませんが…。

時になれば町は暗いでしょう。都会ですといろいろ楽しいですよ。  
藤岡…じゃあ、遊ぶ場所がないってことも原因ですか。  
松田…そうですね、都会はお金を使わなくても楽しめる所はありますし、用がなくてブラブラしてても楽しいですね。  
山本…一か月ごとくらいに店の模様は変わっちゃうでしょう、だから楽しいですよ。

## 薄い人間関係が欠点…都会

藤岡…どうも田舎の欠点が並んできたようですが、じゃあ、都会の欠点はどうですか。

権田…最初私は「周囲の目」ということで自由がないと言いましたが、このことの反対が欠点だとも思います。つまり、甲斐の目というようにならずらわしさはなくとも、人間関係がないということたとえば、自分の隣に住む人の名前も知らなかったりすることなどですね。

初めて都会へ出た人がホームシックにかかるのも、人間関係のない孤独感の原因だと思いますね。

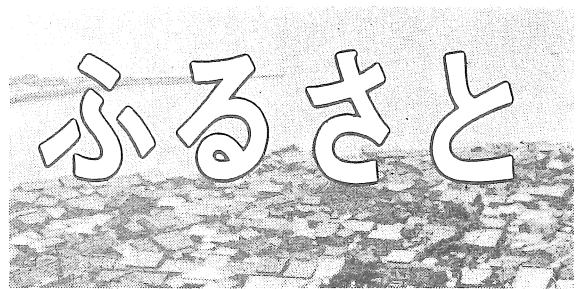
松田…私もホームシックにかかったりですが、そのときは、「親の言う通り田舎に居ればよかった」と後悔したこともありましたが、でも、友だちができると思ひさを忘れてきません。

## 家庭もつたら

やっぱり田舎…女性

藤岡…じゃあ、「金をもうけるためや若いうちは都会がよいが、生活する、つまり、最終的に住むのは田舎がよい」とか「一生都会

# ふるさと



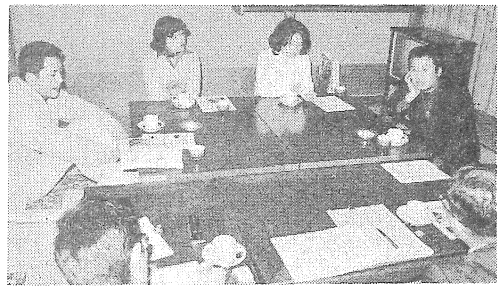
で住もうとは思わない」という声  
が、田舎から都会へ出た人につい  
てはよく聞かれるんですが、あな  
た方はどうですか。  
山本：私は働く場所と住む家が  
あれば田舎でもよいですけど、し  
かし田舎の方がよいというわけ  
はありませんね。



山本

崎岡：私たち、よく友だちと話  
するんですけど、家庭をもって子  
どもでもきたら都会では住みた  
くないですね。  
交通事故や公害のこと考えると  
やっぱり田舎でのんびりと自由に  
遊ばして育てた方がいいわってよ  
く話すんです。

松田：若いうちは都会がいいで



ふるさとを語る（左から）山本、崎岡、松田、権田の皆さん

すよね。でも、結婚して年をとっ  
たら、あの狭いアパートなんかは  
は住みたくないですからね。それ  
に、都会でわが家をもつなんてこ  
と、とうていできませんからね。  
藤岡：じゃあ、長浜も今のまま  
だと年寄りだけの町になってしま  
いそうですね。（笑い）

## 昔より活気感じる

藤岡：ところで長浜町も、あな  
た方が都会へ出られたときよりは  
変わったと思うんですけど、帰っ  
て来られて長浜町に何か感じまし  
たか？

権田：私は、まず活気が感じら  
れましたね、町にも人にも。昔  
の長浜を知っている人だと、とく  
に感じるんじゃないですか。  
住宅や道路などの面でもずいぶ  
ん変わりましたね。小さな部落で  
も道路がついたりして、最初  
帰ってきたとき自分の家に入る道  
路が改良されていたためにわか  
らず、人に聞いたら「この道路だ  
って教えてもらったりして」

松田：若いうちは都会がいいで

（一同大笑い）

崎岡：もう田舎も都会も徐々に  
変わらなくなってゆきみたいで  
昔の静けさ、ふるさとの静けさど  
いうものがなくなってしまうのは  
ちょっと寂しい気がしましたね。  
松田：喫茶店がずいぶんふえて  
いるのに驚きました。

山本：私は、やはり見たことの  
ないもの（理立てた地）が目につ  
きましたね。

藤岡：まあ、ご承知と思いま  
すが、長浜町も皆さんのような若い  
方が出て行ってしまわないよう  
に、また、出かせぎなどしなく  
もすむように、そしてこれ以上町  
がさびれないようにと、考えに考  
えたあげく生まれたのが、この臨  
海工業開発ですが、これからが  
本格的な取り組みとなる場所で  
す。



崎岡

## 発展望むが 公害はダメ

藤岡：ところで「開発」という  
と公害とか自然破壊とか騒がれて  
きましたが、皆さんは、ふるさと  
長浜町の開発についてはどう考え  
ますか？

山本：発展ということには公害  
がつきものではないんでしょうか  
逆に言えば、公害のある所はどこ  
も発展していきませんか。

松田：発展はいいが、公害はダ  
メですね。

崎岡：公害については考え方は  
誰も同じだと思うんですけどね。  
権田：公害は、そりゃあ無いに  
こしたことはないけど、やはり住  
む所、働く場所があって初めて人  
間生きてゆけるんですから、そう  
好き勝手なことばかり言っていて  
も食べていけなかったらどうする  
のかね。



藤岡

公害が完全には企業なんて成  
り立たないんじゃないですか。も  
ちろん、人間の健康が冒される公  
害はいやですけどね。これからつ  
くられる工場地帯には公害はない  
と思うんですけどねえ。もちろ  
ん世論だってもうそれを許さない  
でしょうし。

山本：長浜は山を削るとい  
うのはできないものですか。  
藤岡：農業振興の問題、工事費  
の問題などがありますからね。  
山本：でも、このへん山があり  
すぎですね、山ばかりですね。  
（一同大笑い）

権田：とにかく、今の長浜の土  
地の上だけでものを考えていたの  
では、いつまでたっても同じだと  
思いますね。

## ほしい職場、 住宅、高賃金

藤岡：それじゃあ最後にふるさ  
と長浜町に望むことがあればお聞  
かせください。

山本：とにかく働く場所と住宅  
対策を進めてほしいですね。

それに、女の人の職場が少ない  
こと、男に比べて給料が安すぎる  
こと、これらも問題ですね。

一同：（口々に）給料は安いで  
すね。

崎岡：帰れ帰れと言っても、受  
入れ態勢がなくてはね。やはり  
厳しい現実がありますから。

権田：山本さんの言われる通り  
働く場所と住宅は最低条件として  
整えてほしいですね。

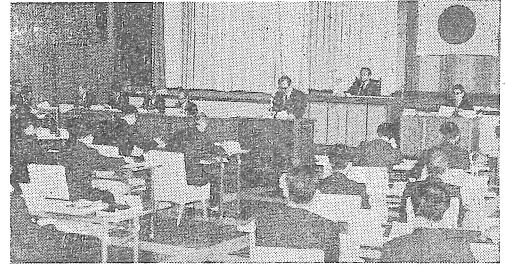
そのためには開発が必要で  
すね。開発をして、長浜町をもっ  
と活気のある町にしてほしいで  
すね。行政担当者の努力を望みます  
それから、これは若い者を代表  
して望むことですが、若い者に対  
する正しい理解、もっと自由があ  
る生活環境をつくってほしいです  
ね。

ただし、節度を乱してもとい  
うわけじゃありませんから誤解の  
ないように。

前町長の西田さんに昔、話をし  
てもらったことがあるんですが、  
僕が一番気に入ったことばです  
「若いときは大いに遊べ、遊びの  
中からいろいろなることを吸収す  
ると人間に幅ができるから大いに遊  
びなさい」と。ですから私も大  
いに遊びたいんですけど、田舎で  
はそれが仲々できませんね、させ  
てくれないものがありますね。

藤岡：どうもきょうはお忙しい  
ところ貴重なお話を聞かせていた  
だきありがとうございます。

一般質問



議会  
例会  
12月

長浜町議会十二月定例会は二十三日に開かれ、四十八年度一般および特別会計の決算、四十九年度一般会計、特別会計補正予算、条例の一部改正など上程された二十三の議案が、いずれも原案通り可決されました。また一般質問も行われ、今回は堤正和、新盛己、山本薫の三氏が質問に立ち、十一件の質問を行いました。可決されたこと、一般質問の主なものは次の通り。

人件費、土地買戻し費など補正

一般会計

今年度一般会計に総額一億七千百二十五万五千円が補正されました。(おもな使いみち) 人事院勧告に基づく公務員の給与改定にともなう町の一般職員および特別職員

の人員費八千六百六十五万四千円。公有財産購入費(晴海団地の土地買戻し分)五千八百八十六万五千円。惣瀬、シモゴン、ナカオイ、上り立瀬道改良事業費五百六十五万五千円。大和小学校土地購入

新年度予算どのようなに……

今議会の一般質問では、堤正和、新盛己、山本薫の各議員が質問を行いました。

議員・山本議員：厳しい社会経済情勢の中で、町民の期待にこたえる新年度予算の取組み方と、また、どのような施策をもって応える決意か伺いたい。

抑制下におけるインフレ防止、物価、経済の安定を図るため、今までは以上に切詰めた政策を考えるのは当然である。しかし住民の福祉につながる事業、福祉行政などは切詰めた中でもできる限りご要望に添いたい所存である。人件費など義務的経費の一般財源に及ぼす影響は増大する一方であるが、半面、町税などは国の総需要抑制策の影響もあり、鈍化する傾向にある。国からの助成がなければ市町村財政は危機を招く恐れがある。経常経費の節減に努力しながら町民が不安に陥らないよう予算の編成を行いたいと考えてい

年賦払い五百万円。農道舗装負担金三百七十七万円。土地改良育成補助金六十三万円。 椎茸生産施設整備事業補助金三百万円。集団作業団地育成補助金八万円。フェリー接岸施設負担金三百万円。白滝の滝山、戒川の萩坂線二線の作業林道開設費二百五十九万五千円。町単沈船魚礁の設置費百万円。白滝、柴線の町道改良工事費七十六万円。新造磐地地区の下水道新設工事費五十万円。下平地区の治山工事費四十七万円。豊茂の簡易バス待合所工事費十万円。住吉公園植樹用松、サザン花苗木購入費九万円など。

なお今回の補正で当会計予算総額は十六億六千八百五十六万三千円となりました。

特別会計にも人件費

特別会計予算にも、人事院勧告に基づく公務員の給与改定にともなう人件費を主としてそれぞれ次の通り補正が行われました。(カッコ内は当予算総額) △国民健康保険会計九百七十

五十年一月一日は町が誕生してちょうど満二十年を迎えいよいよ大人の仲間入りであるので、新年度予算は中味のある組み方にもっていきたい。また二次開発取組みも強力に進めたい。

内山線開通に伴う対策は?

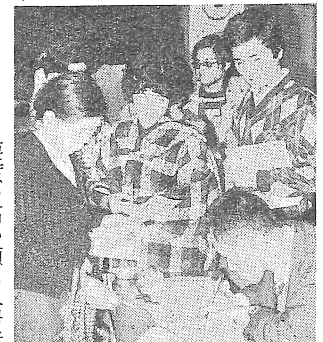
議員：内山線開通にともなうて長浜回りの予讃線がローカル化するのほがめられない事実で、地域住民、過疎の町長浜をどん底

に落ち恐れがある。町当局はどのような対策をもっているか。

六万一千円(三億二百八十七万八千八百円)。 △国民健康保険直営診療所会計十八万六千円(二千七百三十七万七千円)。 △港湾施設会計三十七万七千円(九百三十三万八千八百円) △青島航路会計二百六十六万三千円(二千七百八十九万一千円) △農業共済事業会計百五十三万八千円(二千五百七十八万円)

公開抽選に

町営住宅入居者を決定する方法が改正され、今後は「公開抽選方式」、すなわち、入居希望者本人が「くじびき」をし、当選すれば入居できるという方式に改められました。もちろん事前に申込者全員に対して入居者選考委員による資格審査はこれまでと同じく行われます。 なお、これまでは、入居者選考委員会が公営住宅法に基づき、必



この町に(写真)は、町民の意見が反映され、町民の生活が向上することを期して、町民の生活安定のため強く要望した。つまり①国鉄の地方線は絶対に確保する②国鉄財政再建計画にもとづく旅客、貨物取扱いの合理化推進による小駅の廃止、無人化などを実施する場合は必ず地元の同意を得て行なう。これに関連して関係団体代表も含め、町独自で陳情団を編成して関係当局へ要

特別職給与など改正

一般町職員給与の改定にともない町議会議員報酬および町長、助役、収入役特別職および教育長の給与が次の通り改正されました。(カッコ内は改正前の額) 議長八万四千円(七万円) 副議長六万六千円(五万五千円) 議員六万円(五万円) 町長三十一万一千円(二十五万五千円) 助役二十六万四千円(二十一万九千円) 収入役二十四万四千円(十九万九千円) 教育長二十二万二千円(十七万七千円)

また地域発展のためには道路交通網整備が第一条件である。こうした観点から県道が国道に昇格した機会に、関連した路線も含めた道路工事の早期完成を期するため特別委員会を設け、強く働きかけていく。これは双海町とも協議しさらに工事を早期完成に切替えて要望していくため、現在準備中である。このことで陸の孤島化防止の対策としたい。

小浦にバスを

議員：小浦地区住民は、毎日交通の不便を感じながら通勤、買





### 34万7千円集まる

#### 歳末募金

四十九年長浜町歳末たすけあい募金の集計が、このほど長浜町共同募金会の手で行われました。その結果は、一般の皆さんからの募金が三十二万一千五百二十七円、町からの補助一万一千五百円、社会福祉協議会から一万四千三百七十三円の計三十四万七千四百円（四十八年は三十万円）と、このほか義援品が三点ありました。



## 喜びました!! ご協力ありがとうございました

今回の募金では、昭和サボア社職員組合の自発的な募金をはじめ長浜仏教会を托鉢募金（たつはつ）、大和小学校や楠生小学校の児童募金、長浜幼稚園のかわい

い募金、長浜町職員の募金など職場ぐるみ、学校ぐるみなどによる募金が目立ちました。また、義援品としては、「老人ホーム白山園に」と、長浜十二区の岸本准一郎さんからぜんざい用もち、長浜中学校生徒からクリスマスツリー、長浜高校VVSから肩掛け十一枚が寄せられました。なお、配分は次のように行われ関係者から大変喜ばれました。配分内訳Ⅱ老人ホーム白山園入園者六十三人に一万八千九百円。国立愛媛療養所、大洲市特別養護老人ホーム、日赤松山病院、大洲市民病院、盲老人ホーム権現荘、県立松前清流園などの入所者三十九人に五万八千五百円。生活困難家庭五十五世帯に十二万五千六百二十円。寝たきり老人三十八人に五万二千三百円。独居老人十二人に一万七千三百二十一円。母子家庭三世帯に六千円。心身障害者二十一人に三万四千六百六十三

円。長期在宅療養者五人に九千二百八十円。災害遺児二十六人に二万六千八百四十三円。

### 共同募金は83万円

目標額はるかに上回る  
昨年十月から十二月にかけて募った共同募金の集計も、このほど長浜町共同募金会の手で行われました。その結果は、鹿島建設従業員の

### 検察審査会

## “不起訴処分”を審査

### 市民の代表11人で構成

検察審査会とは、広く国民の中からくじで選ばれた十一人の検察審査員が、いわば民間人を代表して、検察官の不起訴処分が正しく行われているかどうかを審査するところである。ふつう検察官は、捜査の結果、犯罪の証拠が十分であり、犯人を

皆さんの職場募金という特別の協力もあって、目標額の一七五・七％に当たる八十三万一千二百八十八円（四十八年は七十一万二千五百九十九円）の募金があり、さっそく愛媛県共同募金会に送付しました。この募金は後日、県の配分会で配分され、当町へも配分されることになっており、社会福祉事業や活動に利用されることになっていきます。

裁判にかけて処罰する必要があると判断した場合に「起訴」します。起訴しても有罪になるだけの証拠が十分でない認めたり、証拠があっても、いろいろな情状を考慮し、容疑者を裁判にかけて処罰するほどの必要がなく「起訴猶予」にするのが適当だと判断した場合には不起訴にします。ところが万一、検察官が判断を誤って「起訴」しなければならぬ事件を「不起訴」にするようなことがあれば、被害者は当然、納得できないでしょうし、国民の正義感情からも満足されないでしょう。

### 国民年金保険料 千円に

国民年金の保険料は、五十年一月分から千円（これまででは九百円）に引き上げられました。これは、四十九年九月から年金額を引き上げたのに伴いそれに見合った掛金に改正したものです。

交通事故、詐欺、傷害などの犯罪の被害にあつて、警察や検察庁に訴えたのに検察官がその事件を起訴してくれなかったり、選挙違反や汚職など社会的重大事件を起訴しなかったのはどうも納得できないなど、このような不満を持っている人のために検察審査会の制度があり、国民の中から選ばれた十一人の審査員が申立てを待っています。審査の申立ては、めんどうな手続きもありませんし、費用もいっさいかかりません。なお詳しいことは大洲検察審査会事務局へお問い合わせください。



囲碁A級優勝の新友春さん



囲碁B級優勝の増田亀師さん



将棋A級優勝の浦上茂さん



将棋B級優勝の綿木健次さん

A級 新さん・浦上さん  
B級 増田さん・綿木さん

が優勝!!

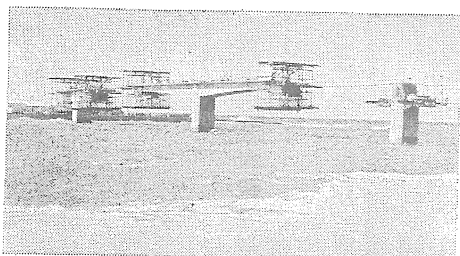
新春囲碁  
将棋大会

公民館主催の第十九回新春囲碁将棋大会が一月三日午前九時から町体育館で開かれ、囲碁の部三十二人、将棋の部に十六人が参加、熱戦を繰り広げました。入賞者は次の通り。

〔囲碁の部〕 A級（有段者） Ⅱ

- ①新友春（長浜二六区）②上川金恵（楠生）③岡田正生（大洲市）④金平範尾（仁久） B級（一級以下） Ⅰ①増田亀師（楠生）②清水俊三（柴）③垣見芳彦（出海）④松本正志（仁久）〔将棋の部〕 A級Ⅰ①浦上茂（長浜二四区）②大島正吉（長浜三二区）③日野和郎④鶴崎有為（長浜三九区）B級Ⅰ①綿木健次（長浜三一區）②清水清美（築地）③石岡周一（長浜一三区）④酒井義萬（長浜一三区）

そこで、このような被害者からの申立てに基づき検察官の不起訴処分およびあしを審査するところが検察審査会なのです。もともとこの制度は検察官の仕事のやり方について一般市民の常識に基づく意見、いわば民意を反映させる主旨で設けられたものですから、十一人の審査員が衆知を集め、市民としての良識で判断するところに意味があり、審査員が法律などの専門的な知識を持つ必要はありません。



### 大橋工事すすむ

厳しい寒さですが、工事は順調に進んでいます（1月10日写す）

# レポート 12月

## 長浜中学が「優秀校」

～RNB器楽コンクール県大会で～



西日本大会で堂々と演奏する長中 brassバンド部

ちから選ばれた優秀校二校が出場することになっている。

ところで、長浜中学校 brassバンドクラブは谷野侑先生の指導のもと、各学年約二十人、計六十二人で編成。正科一時間、そのほか毎日三十～四十分の練習を重ねている。

谷野先生の話 西日本大会から全国大会への道はなかなかきびしい。しかしこれはあくまで一目標であって、ぜひにでも...というものではない。現在は brassバンドの演奏もクラシックをはじめフオークソング、タンゴから流行歌にいたるまでレパートリーも広くなっており、むしろ家庭の音楽、家族全員で楽しむ底辺を広げる音楽づくりをめざしている。それに教師と生徒の立場でなく、人間的つながりに重点を置き努力している。

### 保健婦さん求む!!

希望者なく苦慮

町では、保母八人、栄養士十二人、保健婦一人が欠員となったため、このほど、これらの職員の採用テスト受験希望者を募るとともに、十五日にテストを実施した。

その結果、保母希望の受験者は十三人、栄養士は三人と募集人員を上回り、必要人員を確保できる見通しだが、保健婦については受験者は一人もなく確保に苦慮しており、町ではひきつづき受験希望者を受け付けることにしている。

### 過去をみて

現在を考へ

未来を豊かなものに

保健婦さんよ来たれ!!  
申し込みは役場総務課へ。

### 国道昇格を祝う

ささやかに祝賀式

海岸線道路の国道昇格を祝う「祝賀式」が、国道昇格推進協議会の主催で十三日、町体育館で開かれた。

式には、関係者約百人が出席して昇格を祝い合った、また、白石県知事、推進

前会長の西田司氏、地元県議会議員ら来賓が、悲願であった国道昇格実現の喜びと労苦をねぎらう祝辞を述べた。

このあと、感謝決議を満場一致で採択、万歳を三唱して式を終った。

なお、国道昇格は当町にとっても全町民の喜びとするものだが、今後さらに早期改修実現への取り組みも残されていることや、地方財政の実情を考慮して、祝賀式は



祝賀式はささやかであったが、場内は喜び一色につつまれた

極力ささやかなものに留められた。

### 特別職報酬等審議会

開く

特別職報酬等審議会が十日、町体育館で開かれ、町三役や町議会議員など、特別職の報酬額などの改正案を決め、町長に答申した。改正額は、三ページの議事録の中に掲載の通り。

### こよみ

## レポート

この欄は別レポート以外のものを日にち順に簡単に報告したもの。保健衛生事は省く

2日：民生委員協議会定例会開き、三十二人(全員留任)に委嘱状交付

3日：①町内小中学校の音楽発表会開く②沖浦漁港建設工事の入札行う。西田興産が落札

5日：①長浜町選挙管理委員会開き長浜町内からの検査審査会審査員候補者三十三人を選定。県知事選挙のポスター掲示場を七十四時間繰上げを決める②読書推進研究大会開く。九十九人出席。連絡協議会発足(役員構成は未定)

越智県立図書館館長の講演。出海の村本淳子さん、PTAから一色キヌ子さん、公民館の下田健三さんが研究発表行う

6日：白滝の柿早と田の渕でキッチンカーによる料理実習行う。二十五人出席

7日：町議会総務建設合同委員会開く。住宅条例の改正および小浦住宅入居について協議

9日：第三回老人学級開く。三百四十人出席。松田寿雄愛媛県社会教育講師の「老人の生き方」と題した講演を聞いて学習

10日：麦の生産振興協議会開く

11日：仁久の島田造船所が火事ボヤで鎮火

13日：①公民館館長会開く。陽だまりの部屋の利用について協議②町議会の常任委員長会開く。町理事者から学校給食施設のことについてその後の経過報告を聞く

17日：①第七回農業委員会開く②長浜地区の定例部落館長会開く。二十五人出席③長浜町体育館で郡社協、郡民協の定例会開く。二十人出席。地域の福祉問題、年末共同募金の配分などについて協議

18日：①町議会産業建設委員会開く。農業振興地域の計画変更に

ついて、農業共済の合併について、県単しいたけ生産施設の整備事業についてなど審議②議会運営委員会開く。第四回定例会の運営について審議

19日：青少年補導連絡会開く。学校、警察、民間協力者ら五十人出席。年末年始の防犯について打ち合わせ

20日：①教育委員会開き、補正予算、心身障害児指導員の改善措置案件、陳情文書など審議

21日：手をつなぐ親の会の総会およびクリスマスパーティー開く約四十人出席。事業計画など決めたあと、長高VYSの皆さんと人形劇、歌、ゲーム、合唱、会食などして楽しむ

24日：家庭教育学級開く。約三十五人出席。小学生のしつけと学習態度について学習。映画「お手伝い」をさませましようを観賞

26日：①歳末助け合い募金配分委員会開き募金の配分決める②長浜小学校で喜多郡教育研究会開く。百人出席。教育観、職務観の確立について研究、討論

27日：歳末助けあい募金を各施設へ配分

その他：①心配ごと相談所利用者なし②不要大買上げ頭数十三頭

